

この広報紙は赤い羽根共同募金と香典返し等の寄付金で発行しています。



# おおかわ



# ふくし 広報

## おかわだより

# ふくし 広報

No. 119

令和元年8月1日

●発行者 社会福祉法人 大川市社会福祉協議会 (大川市大字向島1840-2 ☎86-6556)

出かけてみませんか?  
老人福祉センターへ



老人福祉センターはおおむね60歳以上の方が利用できる施設となっております。  
また、センターでは多くの方にご利用いただくため、福祉バスの無料送迎や下記の催し物等を開催し、利用者がお風呂に入り、一日楽しく過ごしていただける施設となっております。お気軽にご利用ください。



**開館日** 毎週火曜日～日曜日 **開館時間** 午前9時～午後4時

**主な行事** 日帰りバスハイク・交通安全教室・防災講座・敬老のつどい・カラオケ演芸・新春のつどい(ぜんざい会)・ミニグラウンドゴルフ・囲碁・将棋等

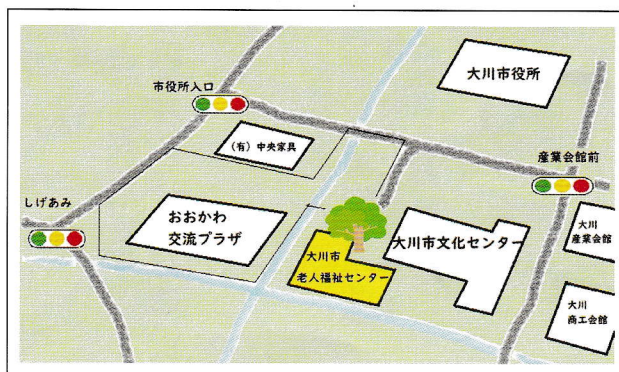
**毎月の行事** 健康体操(ケアビクス) 第1・3火・木・金曜日 午前中  
カラオケ教室 第2・4火・木・金曜日 午前中

**センター利用料金** 【市内在住】1000円(チケット利用は20枚綴りで1,500円)  
【市外在住】2000円



送迎バス、施設の利用方法  
などの詳細は、  
大川市老人福祉センターまで  
お問合せください。

【住所:酒見221-11 電話:86-3400】



# 愛のともしび (香典返し・一般寄付)

(順不同・敬称省略)

寄 付 者		住 所	寄 付 者		住 所
今村八重子	亡 夫 隆 裕 様	大野島	石橋百合子	亡 夫 由 則 様	向 島
西 幸野	亡 夫 信 行 様	小 保	龍 紀美子	亡 夫 正 義 様	新 田
堤 稔彦	亡 父 政 道 様	大野島	中村 保弘	亡 母 トシエ様	中木室
中村サワ子	亡 夫 久 雄 様	上白垣	龍 龍男	亡 妻 鞆 子 様	新 田
高田さとみ	亡 父 友添末吉様	大 橋	中村みどり	亡 夫 満 様	郷 原
古賀みどり	亡 夫 秀 光 様	新 田	酒見 精司	亡 父 進 様	郷 原
志牟田益穂	亡 母 チヨ子様	坂 井	石井登志朗	亡 母 ヨシノ様	三 丸
石井 文代	亡 母 アツ子様	向 島	市 外		
山浦 寛明	亡 母 恭 子 様	一 木	田川いつ子	亡 母 島崎京子様	久留米市
水落 廣喜	亡 母 ミサヲ様	中木室	一 般 寄 付		
水落 廣喜	亡 妹 靖 子 様	中木室	古 賀 文 敏		
貞苅 茂生	亡 妻 キヨ子様	向 島	国際医療福祉大学大学祭実行委員会		
井口幹代子	亡 夫 忠 様	紅粉屋	常 清 寺		
田中 一正	亡 母 スガノ様	上白垣	指 定 寄 付		
龍 紀美子	亡 母 シツ子様	新 田	木の香園へ	永尾 貞則 (亡父 亀様)	
岩永 和弘	亡 母 ツネヨ様	酒 見	市身障協会へ	永尾 貞則 (亡父 亀様)	
馬場 秀昭	亡 母 良 子 様	下 林	市身障協会へ	柿添 満 (亡父 寿男様)	
宮原 洋	亡 妻 若 子 様	下木佐木			

皆様方からの温かい寄付は地域福祉事業等に役立たせていただきます。  
 ありがとうございました。(平成31年1月1日より令和元年6月30日まで)

## 令和元年6月26日、みまもり会員さん向けにフォローアップ講座を開催しました。 参加者総勢29名。皆さん熱心に聞き入られていらっしゃいました。

今回は元久留米市男女平等推進センター相談コーディネーター、社会福祉士の石本宗子先生による『DVと子どもへの影響』についてお話いただきました。

昨年の千葉県野田市での虐待事件のように、近年DVによる問題は深刻化しております。

参加者からは『日常生活にDVが潜んでいたことを学んだ』『父から母へのDVを見ていた影響は、実際子どもにも暴力等無くとも重大だと感じた』等の感想をいただきました。

ファミリー・サポート・センターでは「子育てを手伝ってくれる方」「子育てを手伝ってほしい方」の会員登録を募集しております。詳細は下記までお問合せください。



### 【問合せ先】

ファミリー・サポート・センターおおかわ  
 (社福) 大川市社会福祉協議会内

大川市大字向島1840-2

TEL/FAX 0944-86-6588

E-mail syakyou-fc@kumin.ne.jp



# 平成30年度 大川市社会福祉協議会事業・収支決算概要

平成30年度は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための生活支援体制づくりに向けて地域住民、行政、関係機関団体等の参加の基に地域生活支援勉強会を各校区で開催し、地域が抱える様々な福祉課題の掘り起こしを行い、次年度に取り組む方向性の重要な資料の集約に努めてまいりました。

また、子育てにおいては核家族化など社会情勢の変化とともに、地域の中で「悩み」等を抱える子育て中の方たちをサポートすることを目的に開設した「ファミリー・サポート・センター」も市民に浸透し、地域の中で安心して子育てが出来るための事業を推進しました。

この他、福祉教育推進、障がい児・者事業、ひとり親家庭事業など様々な事業の実施にあたっては各関係機関団体や行政との連携を保ちながら取り組みを行いました。

## 高齢者福祉事業

- いきいき日帰りバスハイク事業
- ふれあい訪問活動(要支援高齢者等見守り事業)
- 「敬老の日」に係る事業助成
- 介護予防事業(公民館等ゆうゆう会・いきいき健康相談)
- 大川市生活支援体制整備事業勉強会の実施
- 高齢者家事サポーター研修の実施
- 老人クラブ連合会との共催事業
- 大川市老人福祉センター事業(市指定管理)

## ひとり親等家庭事業

- ひとり親等家庭バスハイク(市母子会共催)

## 子育て支援事業

- 子育てサロン「ほっとママあいあい」
- 大川市ファミリー・サポート・センター事業外3事業
- 子育て応援プログラム(ペアレント・プログラム)

## 児童・青少年福祉事業

- 子ども会育成事業への助成(市子ども会スポーツ大会)
- 青少年弁論大会助成
- 保育協会助成
- 学童保育所助成

## 障がい児・者福祉事業

- ふれあいバスハイク(市身障協会共催)
- 聴覚障がい者サロン事業支援

## ボランティア、福祉教育活動事業

- 傾聴講座(傾聴の会共催事業)
- 福祉教育活動助成
- 福祉教育読本配布(市内全小学校の5年生を対象に配布)
- 福祉作文募集(市内全小学校の5年生を対象に募集)

## その他、啓発、広報、調査活動事業

- 福祉のつどい
- 広報紙発行(年2回)
- 福祉世帯基礎調査
- 介護予防事業「ゆうゆう会」研修会
- 地域防災ボランティア活動講座
- 生活福祉資金貸付
- 善意銀行の運営
- 心配ごと相談事業

## 赤い羽根共同募金事業

- 共同募金推進
- 歳末たすけあい運動
- 赤い羽根共同募金自動販売機の設置推進

## 【収入】

単位:円

費目	収入額	
寄附金収入	香典返し寄附	2,052,000
	一般寄附	78,785
市補助金収入	20,619,000	
県社協助成金・受託金収入	419,320	
市受託金収入	57,197,000	
事業収入(参加費収入)	185,500	
共同募金配分金収入	6,432,268	
負担金収入(市負担金収入)	300,000	
老人福祉センター利用料収入	1,583,800	
雑収入	137,524	
受取利息配当金収入	9,251	
善意銀行基金積立資産取崩収入	6,587,307	
29年度末繰越金	2,490,152	
収入合計	98,091,907	

## 【支出】

単位:円

費目	支出額	
法人運営事業	26,190,704	
共同募金配分金事業	老人福祉活動事業	2,760,324
	障がい児・者福祉活動事業	267,341
	児童・青少年福祉活動事業	1,588,211
	母子・父子福祉活動事業	301,546
	福祉育成・援助活動事業	2,186,116
歳末たすけあい配分金事業	572,468	
心配ごと相談事業	131,906	
老人福祉センター経営事業	17,890,336	
生活支援バス運行受託事業	11,789,000	
生活福祉資金貸付事業	407,063	
介護予防事業受託事業	10,541,000	
子育て支援事業	5,000,000	
生活支援体制整備事業	13,617,000	
子育てサロン事業	225,500	
支出合計	93,468,515	

収入額 98,091,907円

支出額 93,468,515円 差額 4,623,392円(令和元年度事業へ繰越)

# 令和元年度 大川市社会福祉協議会【事業計画・予算概要】

## 高齢者福祉事業

- ・老人福祉センター経営事業(市指定管理)
- ・いきいき日帰りバスハイク
- ・ふれあい訪問支援事業(要支援高齢者等への見守り活動)
- ・介護予防事業(公民館等ゆうゆう会)
- ・敬老事業への助成
- ・生活支援体制整備事業(市受託事業)

## 障がい児(者)事業

- ・ふれあいバスハイク
- ・聴覚障がい者サロン事業支援
- ・ベアレントプログラム(市共催)(新規)

## ひとり親等家庭事業

- ・おおかわっ子バスハイク

## 子育て支援事業

- ・子育てサロン(ほっとママあいあい)
- ・ファミリー・サポート・センター事業等(市受託事業)

## 青少年健全育成・児童福祉活動

- ・学童保育所、保育協会への助成
- ・子ども会育成事業への助成
- ・青少年弁論大会への助成

## ボランティア活動支援

- ・ボランティア連絡会との連携・支援

## 福祉教育の推進

- ・福祉教材「ともに生きる」配布
- ・福祉作文募集

## 啓発・広報・調査

- ・福祉のつとめ
- ・福祉世帯基礎調査
- ・広報紙「社協だより」の発行(年2回)
- ・介護予防事業(公民館等ゆうゆう会)研修会
- ・社協ホームページを使った広報活動

## 低所得世帯・障がい者世帯・高齢者世帯・離職者への生活支援事業

- ・生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)
- ・日常生活自立支援事業(県社協受託事業)
- ・生活困窮世帯等への災害用非常食提供への取組み

## 災害時相互協力協定締結後の取組み

## その他の福祉対策

- ・心配ごと相談事業
- ・生活支援バス運行受託事業(おおかわ愛のりバス)
- ・認知症等徘徊者位置情報発信機器貸出事業
- ・傾聴ボランティア派遣事業
- ・子供の遊び場遊具整備補助
- ・電動アシスト自転車貸出事業

## 善意銀行運営

## 地域福祉活動計画の推進

## 共同募金への取組み(運動期間10/1～12/31)

- ・赤い羽根自動販売機の設置推進
- ・小学校新入学生への「黄色い傘」贈呈事業

## 当事者団体支援

- ・市老人クラブ連合会事業活動の支援
- ・市身体障害者福祉協会事業活動の支援
- ・市母子寡婦福祉会事業活動の支援
- ・おおかわ子育て連絡会事業活動の支援
- ・発達障がい児等を抱える家族会活動の支援

単位:円

拠 点 区 分		金 額
法人運営事業拠点区分		28,590,000
共同募金配分金事業 拠点区分	老人福祉活動事業	3,089,000
	障がい児・者福祉活動事業	535,000
	児童・青少年福祉活動事業	1,676,000
	母子・父子福祉活動事業	410,000
	福祉育成・援助活動事業	2,646,000
	歳末たすけあい配分金事業	700,000
心配ごと相談事業拠点区分		161,000
老人福祉センター経営事業拠点区分		18,511,000
生活支援バス運行受託事業拠点区分		13,056,000
介護予防事業受託事業拠点区分		10,601,000
生活福祉資金貸付事業拠点区分		500,000
生活支援体制整備事業拠点区分		9,056,000
子育て支援事業拠点区分		5,431,000
福祉金庫貸付事業拠点区分		269,000
善意銀行運営拠点区分		9,528,000
子育てサロン事業拠点区分		330,000
合 計		105,089,000

# 愛のともしび (香典返し・一般寄付)

(順不同・敬称省略)

寄 付 者		住 所	寄 付 者		住 所
今村八重子	亡 夫 隆 裕 様	大野島	石橋百合子	亡 夫 由 則 様	向 島
西 幸野	亡 夫 信 行 様	小 保	龍 紀美子	亡 夫 正 義 様	新 田
堤 稔彦	亡 父 政 道 様	大野島	中村 保弘	亡 母 トシエ 様	中木室
中村サワ子	亡 夫 久 雄 様	上白垣	龍 龍男	亡 妻 鞆 子 様	新 田
高田さとみ	亡 父 友添末吉 様	大 橋	中村みどり	亡 夫 満 様	郷 原
古賀みどり	亡 夫 秀 光 様	新 田	酒見 精司	亡 父 進 様	郷 原
志牟田益穂	亡 母 チヨ子 様	坂 井	石井登志朗	亡 母 ヨシノ 様	三 丸
石井 文代	亡 母 アツ子 様	向 島	市 外		
山浦 寛明	亡 母 恭 子 様	一 木	田川いつ子	亡 母 島崎京子 様	久留米市
水落 廣喜	亡 母 ミサヲ 様	中木室	一 般 寄 付		
水落 廣喜	亡 妹 靖 子 様	中木室	古 賀 文 敏		
貞苅 茂生	亡 妻 キヨ子 様	向 島	国際医療福祉大学大学祭実行委員会		
井口幹代子	亡 夫 忠 様	紅粉屋	常 清 寺		
田中 一正	亡 母 スガノ 様	上白垣	指 定 寄 付		
龍 紀美子	亡 母 シツ子 様	新 田	木の香園へ	永尾 貞則 (亡父 亀 様)	
岩永 和弘	亡 母 ツネヨ 様	酒 見	市身障協会へ	永尾 貞則 (亡父 亀 様)	
馬場 秀昭	亡 母 良 子 様	下 林	市身障協会へ	柿添 満 (亡父 寿男様)	
宮原 洋	亡 妻 若 子 様	下木佐木			

皆様方からの温かい寄付は地域福祉事業等に役立たせていただきます。  
 ありがとうございます。(平成31年1月1日より令和元年6月30日まで)

## 令和元年6月26日、みまもり会員さん向けにフォローアップ講座を開催しました。 参加者総勢29名。皆さん熱心に聞き入られていらっしゃいました。

今回は元久留米市男女平等推進センター相談コーディネーター、社会福祉士の石本宗子先生による『DVと子どもへの影響』についてお話いただきました。

昨年の千葉県野田市での虐待事件のように、近年DVによる問題は深刻化しております。

参加者からは『日常生活にDVが潜んでいたことを学んだ』『父から母へのDVを見ていた影響は、実際子どもにも暴力等無くとも重大だと感じた』等の感想をいただきました。

ファミリー・サポート・センターでは「子育てを手伝ってくれる方」「子育てを手伝ってほしい方」の会員登録を募集しております。詳細は下記までお問合せください。



### 【問合せ先】

ファミリー・サポート・センターおおかわ  
 (社福) 大川市社会福祉協議会内

大川市大字向島1840-2

TEL/FAX 0944-86-6588

E-mail syakyou-fc@kumin.ne.jp



# 生活支援体制整備事業

～ みんなで支え合う共生のまちづくり ～

## 木室たんぽぽの会

会 長：一ノ瀬 直子



### ～ 木室幼稚園跡地で様々な行事をしています ～

木室たんぽぽの会とは、木室校区の皆さん全員が主役の多世代交流の場です。ご近所づきあいが希薄になった今日、地域にどのような方が住んでいるのか、どこのお子さんなのか、興味を持って頂き、木室校区の皆さんにひと昔前のような交流のある地域を作ろうという会です。もしお困りの方がおられたら「ご近所さん同士で何かできることはないか、たんぽぽの綿毛のように、皆さんのところに飛んでいきたいと思います。」という熱い想いで、「木室たんぽぽの会」と命名されました。

### 子ども寺子屋・高齢者脳トレ



毎週土曜日10時から12時まで開催しています。10時から子ども達は勉強し、高齢者は健康チェック後脳トレをします。11時からはふれあい交流タイムで、一緒にゲームなどをして楽しい時間を過ごします。

第4週目は、食進・民生委員などの協力で食事を作り、みんなでいただきます。食材は、スーパーなどから食材提供を受けています。

今後も、様々な行事の中で地域の絆を深め、あったかい「木室家族」を作っていきます。

## ドリームたぐち

代 表：酒見 精司



### ～ 住民アンケートを通して仕組みづくりに取り組んでいます ～

ドリームたぐちでは、2018年5月から多世代交流として「お楽しみ会」を5月・9月・1月の計3回開催しました。100名を超える田口住民の皆さんが集まってゲームをしたり、みんなでお食事をしたりして大変好評でした。

2018年11月には、木室地区と合同で福津市に視察研修に行きました。視察後、田口住民の皆さんの困りごとを把握するため、2019年2月に全世帯を対象にしたアンケート調査を行いました。アンケート結果を基に、今後ドリームたぐちでは何ができるのかを、また居場所作りについても協議体(話し合いの場)で話し合いを重ねてきました。

そして、居場所(いこいの場)については7月13日からスタートし、第2・第4土曜日の10時～11時30分までコミセンにて開催が決まりました。

今後も、地域サポーター(ボランティア)の養成などを目標にしながら、「困ったときはお互い様」の心で支え合う、あったかい田口地区を目指していきます。



協議体(話し合いの様子)



第二回お楽しみ会の様子



みんなで支え合いの地域づくりを!

他の地区でも支え合いの仕組みづくりを協議しています。